

●参考文献一覧の表記方法（ニュータイプ引用表記）

（注：ニュータイプ引用表記は、著者名の後に出版年を表記する。）

（1）単行本

著者名（訳者名）（出版年），『書名』（出版社名）

\* 欧文の場合、書名は『 』ではなくイタリック。

小野寺健(2001), 『E.M.フォースターの姿勢』（みすず書房）

海老根宏,内田能嗣編著(1999), 『ジョージ・エリオットの時空』（北星堂書店）

松村昌家（他）編(1996), 『新帝国の開花』（研究社出版）

デイヴィーズ J（白井義昭訳）(1998), 『英国ヴィクトリア朝のキッチン』（彩流社）

ボブズボーム E. J.（野口建彦（他）訳）(1993), 『帝国の時代 1』（みすず書房）

Carroll, David, *George Eliot and the Conflict of Interpretations* (Cambridge University Press, 1992).

（2）単行本（論文集）収録の論文

著者名, 「論文名」, 収録書物の編集者名(出版年), 『書名』（出版社名）, ページ数.

\* 欧文の場合は論文名は「 」ではなく””、書名は『 』ではなくイタリック。

川北稔, 「福音主義の理想と奴隷制の廃止」, 松村昌家（他）編(1996), 『新帝国の開花』（研究社出版）, pp. 67-86.

倉持三郎(1993), 「「英国」小説から世界小説へ」, 20 世紀英文学研究会編, 『多文化時代のイギリス小説』（金星堂）, p.16.

Synnott, Anthony, "Puzzling over the Senses: From Plato to Mark," Howes, David ed., *The Varieties of Sensory Experience* (University of Toronto Press), pp. 61-76.

（3）雑誌論文

著者名, 「論文名」, 『雑誌名』 巻数号数（発行所, 出版年）, ページ数.

\* 欧文の場合、論文名は「 」ではなく””、雑誌名は『 』ではなくイタリック。

泉忠司(2000), 「Catherine は誰の子か?」, 『ブロンテ・スタディーズ』 第3巻第4号（日本ブロンテ協会）, pp.111-119.

Arata, S.D. (1990), "The Occidental Tourist: Dracula and the Anxiety of Reverse Colonization", *Victorian Studies*. Vol.33 Number4 (Indiana University), pp.621-645.

（4）新聞記事

執筆者名, 「記事見出し」, 『新聞名』 発行年月日, 朝夕刊の別, ページ数.

\* 執筆者が不明の場合や、朝夕刊の区別のない新聞の場合は、それぞれの項目を省略する。欧文の場合、記事見出しは「 」ではなく””、新聞名は『 』ではなくイタリック。

和田俊, 「日系作家、英文壇で高い評価」, 『朝日新聞』 1986.6.2., 夕刊, p.7.

Fowler, Rebecca, "Royal Wedding is over in five minutes", *Daily Yomiuri* 1996.4.21., p.13.

\* 雑誌記事の場合は、上記（4）を参考に記載してください。該当しない項目は省略してください。（JAAA事務局）

（5）インターネットで得た資料

サイトの運営主体, 「情報タイトル」（記事の日付）, （サイトの URL）, 情報入手日.

\* 記事の日付が分からない場合は省いても構わないが、情報入手日は必ず入れる。また、欧文の場合、情報タイトルは「 」ではなく””。

文部科学省, 「生徒指導上の諸問題の現状について（概要）」, ([http://www.mext.go.jp/b\\_menu/houdou/17/09/05092704.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/17/09/05092704.htm)) , 2008.12.10

TIMES ONLINE, "Bye-bye classroom" (2009.4.26), (<http://www.timesonline.co.uk/tol/news/uk/education/article6168260.ece>), 2009.4.29

出典：泉忠司(2009), 『90分でコツがわかる！「論文&レポート」の書き方』（青春出版社）, pp.218-225.

\* = JAAA事務局追記2021.6.1